

保護者の皆様へ

高浜市立高浜小学校長
中川健二

平成28年度 全国学力・学習状況調査の状況報告

日頃は、本校の教育諸活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

4月19日(火)に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果をまとめました。この結果を、本校児童の教育に生かしていきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。なお、この調査は6年生を対象にしたものであり、今回は国語、算数の2教科について調べたものです。児童の全ての学力や生活の様子を表しているわけではありません。

1 本校6年生の特徴や傾向

| | 「知識」の調査結果 | 「活用」の調査結果 |
|-------|---|--|
| 国語 | <p>○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」「話すこと・聞くこと」の領域で、次の点で優れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合う。 ・ひらがなで表記されたものをローマ字で書く。 ・ローマ字で表記されたものを正しく読む。 <p>△「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」「書くこと」の領域で、次の点で努力を要する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む。 ・書き手の表現をよりよくするために助言する。 | <p>○「読むこと」の領域で、次の点で優れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて複数の本や文章を選んで読む。 <p>△「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域で、次の点で努力を要する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて質問したいことを整理する。 ・質問の意図を捉える。 ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する。 ・グラフを基に、分かったことを的確に書く。 ・目的や意図に応じて、表やグラフを基に、自分の考えを書く。 |
| 算数 | <p>○「数と計算」の領域で、次の点で優れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をし、約分することができる。 ・不等号を理解している。 ・示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表すことができる。 <p>△「数と計算」「量と測定」「数量関係」の領域で、次の点で努力を要する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除法における計算の確かめの方法を理解している。 ・末尾の位のそろっていない小数の加法の計算をすることができる。 ・数の大小関係を理解している。 ・単位量あたりの大きさの求め方を理解している。 ・直方体における面と面の位置関係を理解している。 ・全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味について理解している。 | <p>○「図形」の領域で、次の点で優れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述できる。 ・図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断することができる。 <p>△「数と計算」「量と測定」「数量関係」の領域で、次の点で努力を要する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述できる。 ・示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述できる。 ・乗法や除法の式の意味を解釈することができる。 ・単位量あたりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し、特定することができる。 ・示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない確率特定することができる。 |
| 質問紙より | <p>○学校や家庭生活で、現状を維持していきたい項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日同じくらいの時刻に就寝・起床をしている。(約半数の児童が午後10時までに就寝) ・算数の勉強に興味を持っている。 ・算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えている。 <p>△学校や家庭生活で、改善が必要な項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日に「4時間以上テレビやDVD見ている」「4時間以上パソコンや携帯等のゲームをしている」「4時間以上携帯やスマホでの通話やメールをしている」児童が、どの項目も全国より多い。 ・家で、学校の授業の予習や復習を必ずしている児童が少なく、全くしない児童が多い。 ・国語の勉強が好きではない。 | |

2 改善に向けての対応

- ① 落ち着いた授業、基礎的学習内容習得が、学力向上につながります。全校体制で学習規律の指導を継続します。
- ② 授業の中で繰り返し学習する機会を設け、基礎的学習内容のいっそうの定着に取り組みます。
- ③ 算数での少人数指導を継続し、個人個人に合った指導法の工夫をします。
- ④ 学習した知識定着のための家庭学習習慣を身につけさせるために、自主学習の継続と学習内容の充実に向けた指導を行います。

3 ご家庭へのお願い

規則正しい生活リズムが、学校での落ち着いた生活につながります。また、家庭学習習慣や食生活を含む適切な生活習慣の確立には家庭の支援が欠かせません。学校の方針にご理解を頂き、ご協力くださいますようお願いいたします。